



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

リーマンショック後をボトムに始まった米国の景気拡大期間は9年目に入り、ペースが非常に緩慢な分、息の長いものになっています。この間の政策下支えは、ひとえに金融の量的緩和であり、米株式市場は溢れ出した資金をリスクテイクマネーとして見事に取り込んで、実体経済の成長に則した史上最高値更新という価格形成を実現して来ました。

景気の安定基調は堅固になったとして、米FRBは利上げに政策の舵を切っていますが、次は緩和縮小というマネーの回収が併せて始まる局面の予測に、マーケットの関心は集まっています。むしろ緩和縮小を優先して利上げを後回しにするとの見通しは、米景気減速リスクを軽減するとして、米株式市場はこのところ適温環境と受け止めて、穏やかな安定基調が続いています。

そして欧州でも、ユーロリスクの沈静と共に景気回復軌道がしっかり見え始めたことで、マーケットが金融政策の量的緩和縮小を織り込み始めていて、株式市場は高値圏でこう着しています。日本も含め、先進国経済は安定した経済回復基調が相互に追い風となっており、同時に新興国経済の需要回復も顕著になるなど、世界経済全体が昨年までより明らかに成長力を取り戻して来ています。

こうした景気循環は好転していますが、米欧の金融政策転換が足元の価格水準を再評価するきっかけとなる可能性があり、米国トランプ政権の不安定性、日本でも安倍内閣の改造以降政局になる可能性が大で、更に北朝鮮動向も不確実性が増しているなど、平穩環境の変化の芽には認識が必要です。

とは言え、長期投資家の行動には変化は無用です。実体経済の安定基調を見据えてコツコツと進んで参りましょう。

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 7月の市場動向

**株式：**【途中まで方向感の無い展開となったものの、中盤以降は金融引締めへの警戒が和らぎ上昇】

米国経済の先行きに対する楽観的な見方は後退したものの、ユーロ圏経済の先行きに対する明るい見方が広がったほか、中国経済の先行きに対する懸念が後退するなかで、中盤以降、米国やユーロ圏で金融引締めへの警戒が和らいだことから、安心感が広がって上昇しました。

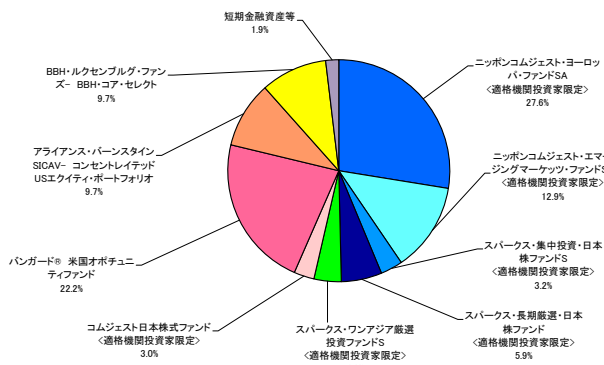
**為替：**【ユーロがドルに対して一段と上昇。円は方向感の無い展開となり、対ドルで円高、対ユーロで円安】

米国で経済の先行きに対する楽観的な見方や利上げ観測が後退したことを受けてドルが下落する一方で、ユーロは域内経済の先行きに対する明るい見方が広がり上昇しました。円は当面の間、金融政策に変化が無いと見られることから方向感の無い展開となりました。

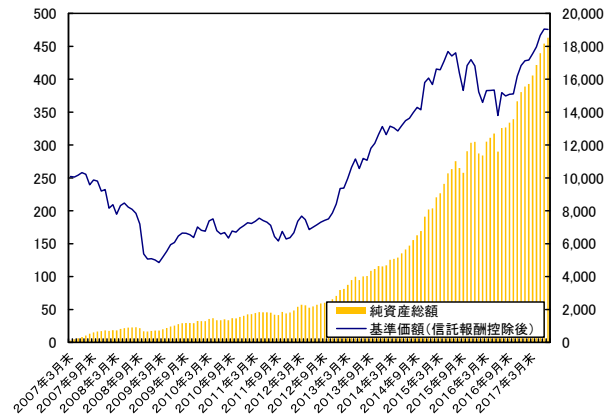
基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年7月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
19,027円	463.1億円	+90.27%	-0.11%	+11.13%	+25.28%

資産配分状況(2017年7月31日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 7月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、BBH コア・セレクト・ファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジェスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から上昇し、月末時点で1.9%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

競争の激しい現在の金融市場において、他の市場参加者よりも上手に行動することや、他の市場参加者の間違いを利用することにより、常に市場平均を上回る成果を生み出し続けることは、難しいことであると認識しています。

一方で、短期的な成果に関心が集中する一方で、企業の本質的価値への関心が相対的に低下していることは、長期的な視点で企業の本質的価値を見極めることにより魅力的な投資機会を発掘する機会が存在することを意味し、長期的な成果だけに焦点を合わせて投資を行うことで、市場平均を上回るリスク調整後のリターンを提供することが出来ると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）